

## はじめに

### 早稲田イーライフは健康で楽しく長生きできるお手伝いをします

私たちが地域社会に貢献したいという思いから始めましたデイサービスもお陰様で7年目を迎えることが出来ました。その間、たくさんの方との出会いがあり、お元気になって自立生活に戻られる方もあり、健康で生活することの大切さをたくさん学ばさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症もだんだんと終息の兆しが見えてきて、感染蔓延中は、外出の機会が少なく、体力・筋力低下が見られたご利用者様も、以前のようにだんだんと運動の機会を取り戻しつつあります。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、ご利用者様もご自身の筋力体力を維持したい思いから、弊社の感染症対策をご理解いただいた上、楽しく運動されています。お休みも減り、さらに新規のご利用希望者様も増えてきております。

これからも、地域の皆様が、健康で楽しく長生きできるお手伝いをできるよう頑張っております。

## 運営会社

株式会社アドバンスコーポレーション

本社：多摩市和田842-4

設立：平成28年7月21日

代表取締役 青木 亨

## 事業理念につて

- ・地域への貢献(地域になくてはならない存在になる)
- ・働く人が、やりがいを持って楽しく働く場所の創造

## 運営方針

早稲田イーライフ多摩貝取は、ご利用いただく皆様が明るく元気で自立した生活を営むことができるよう、日常生活に必要な筋力や基礎体力を維持する為の、お手伝いをいたします

## サービスの内容

介護予防特化型デイサービス(早稲田イーライフFC:全国に110施設)

- ・早稲田大学スポーツ科学部の研究施設で開発研究された科学的根拠に基づいた介護予防プログラムを提供
- ・短時間(3時間)で機能訓練中心のプログラム  
個々の身体状況に合わせて、マシン負荷や時間を調整
- ・安全なマシンを使用した筋力向上プログラムの実施
- ・リハビリなどでも使用しているレッドコードを使用したストレッチ運動
- ・ロコモ(寝たきり状態)予防トレーニング(イートレ)
- ・歩行データ測定(AYUMI-EYE:3か月ごとに計測)

営業日 月曜日～金曜日

サービス提供時間 午前 9時00分～12時10分(3時間10分)

午後 13時30分～16時40分(3時間10分)

定員 10名

要支援、要介護の方が、認定が変わっても引き続き利用可能なように、両方の許認可を取得し、同じプログラムを提供しています

## オープンからの歩み

平成 28年12月 総合事業許認可(要支援、事業対象者) 見学開始

平成 29年1月 総合事業利用開始

平成 29年2月 地域密着型許認可(要介護) 利用開始

## 他施設との差別化 取り組み

AYUMI-EYEの導入

タブレットを使用した歩行測定

歩行状態の見える化の実現

レッドコードによるストレッチ

マシンによる筋力アップの運動プログラムは当然の事、レッドコードによる

ストレッチ運動の実施

イーライフボールによる筋肉ほぐし

準備体操にイーライフボールを取り入れ、筋肉を弛緩

少人数定員にこだわり、一人一人との触れ合いを大切にしています

要介護認定者への個別機能訓練の強化

生活動作改善の為の個別機能訓練実施

※総合事業認定者も希望者は実施

運動はもちろん事、利用者同士やスタッフとのコミュニケーションも大切に考えています

# 利用状況

利用者数(3月1日現在)

67名 (利用率 97%)

契約者数累計(R5 3月1日現在)

累計契約人数	164名	※半年で8名増
累計休止・中止	97名	※半年で13名増

## 休止・中止理由

卒業	12名	
体調悪化	49名	※ご家族の体調悪化含む
自己都合	36名	※引っ越し、ホーム入所等含む

97名

## 年代別利用者数

90代	11名
80代	40名
70代	16名
60代	0名
平均	83.9歳

※半年間で、高齢化が進みました  
半年間で平均年齢0.3歳上がった

## 介護認定別

要介護5	1名
要介護3	3名
要介護2	7名
要介護1	12名
要支援2	20名
要支援1	11名
事業対象者	13名

総合事業 65.7%

地域密着型 34.3%

※半年前に比べ、地域密着型が0.5ポイント増加

## 性別

男性	24名	35.8%
女性	43名	64.2%

※半年前に比べ男性が増えている

# ヒヤリハット・事故報告

## ヒヤリハット

※年月無しは、発生件数ゼロ

年月	件数	主な内容
開業～令和3年3月	23	4年間の件数
令和3年4月	1	施設内でのつまづき
令和3年8月	1	施設内でのつまづき
令和3年10月	1	自宅出る際に転倒
令和3年10月	1	施設内でのつまづき
令和3年12月	1	施設内でしりもち
令和3年12月	1	施設内でのつまづき
令和4年1月	1	施設内で転倒
令和4年3月	1	送迎車ドアに指を挟みそうになった
令和5年1月	1	施設内でしりもち
令和5年1月	1	施設内でのつまづき

## 事故報告

年月	件数	主な内容
令和2年8月	1	手指消毒アルコール噴霧が目に入った

## ご利用者住所(地域別)

※包括支援センターエリア区分け

北部地域	16名	一ノ宮、関戸、愛宕、貝取1、豊ヶ丘1
西部地域	9名	和田、東寺方
東部地域	6名	諏訪、聖ヶ丘、馬引沢
中部地域	18名	豊ヶ丘、永山、貝取
多摩センター地域	18名	落合、鶴牧、唐木田、中沢

※地域により、利用者のばらつきがある。西部・東部エリアが少ない

## 職員の変更・資格の取得状況

令和4年5月より職員2名が介護福祉士資格取得

※現在、それに伴う加算は変更はありません

職員1名が、実務者研修受講終了

今期(R4.4~R5.3)の、人員の変更はありません

## ご利用者の声

- ・普段は、カート・杖での移動でしたが、今では施設内は杖もなく移動ができるようになりました
- ・自宅にいと誰とも話すことがないが、ここに来ると話ができ、生きがいになりました
- ・先日久しぶりに、電車に乗って外出しました。歩くことに自信ができました
- ・姿勢がよくなったと、ご近所の方に言われました
- ・自宅にこもりがちのご主人が、デイに行くことで明るくなり散歩もするようになりました
- ・握力がついてきて、ペットボトルの蓋が開けられるようになりました
- ・骨折による入院時の筋力低下を取り戻してきました
- ・食事がおいしく、睡眠もよくとれるようになりました
- ・自宅では無口な方が、よくお話をされるようになったとのこと(家族談)
- ・歩行が安定して、少しですが散歩に行けるようになりました
- ・筋力低下で、足が細かったが、筋肉が付き、足に張りが出てきました
- ・筋力が付き、歩行の安定が上がりました。転倒の不安が減ってきました
- ・先日、夫婦で実家まで帰省しました。歩行に自信が出てきました
- ・長座からの立ち上がりが大変でしたが、個別プログラムを実施して頂き助かりました
- ・運動習慣が身につく、自宅でも簡単な運動をするようになりました

## 今後の課題

利用希望者に対して、希望枠と空き状況のばらつき

利用者やケアマネージャーの要望に対して応えられていない

土曜日、日曜日の施設の有効利用を検討

イーライフフィットネスの再開(近隣向けの運動施設開放)

## 今後の課題

コロナ禍終息の流れにより、利用希望者が増加してきています。その為、お受けできる人数も制限せざる得ない状況になっています。市民の平均年齢も、徐々に上がってきていることを考えると、デイサービスは、社会生活の中で、インフラに変わって来ています。

今後の地域貢献を考え、従業員の幸せを考える上でも施設自体をしっかりと支える必要があることを実感しています。その為の、皆様のご支援もお願いしたいと思います。